



第158号

歳遊記

さいゆうき

《発行》
公益財団法人愛媛県老人クラブ連合会
〒790-0843 松山市道後町2丁目9番14号
ひめぎんホール別館内
TEL 089-925-7424



新年のごあいさつ

(公財)愛媛県老人クラブ連合会
会長 篠崎英夫

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年はオリンピック効果が明るく話題も多かった反面、老人クラブにとっては非常に厳しい年でございます。が、関係団体を始め会員皆様方の力強いご支援、協力により各種事業も無事完了となりそうです。心から厚くお礼申し上げます。

さて、高齢者は長く住み慣れた土地・地域に家族や友と住み、持てる能力を発揮し笑って過ごせる生活を願う希望していると言われております。全老連のメインテーマが「のはそらー健康寿命、担おう！地域づくり」であるように、地域においては健康づくり、地域づくり、仲間づくり等幅広い活動に取り組みることが重要であり、望まれております。

一方、少子高齢化が一層進むなか、全人口に占める65歳以上の高齢者の人口比率は毎年のように高くなっております。同時に医療・介護費が増え、政府としてはその対策として種々検討されている状況です。

このような中、元氣な会員による相互支援がますます必要とされており、これこそが新地域支援事業であります。この事業は、各種関係団体の代表者が相寄り協議会を作り、実施項目等具現化し実行するものであり、老人クラブ



新年挨拶

愛媛県知事 中村時広

明けましておめでとうございます。皆様方には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

御案内のとおり、昨年のリオデジャネイロオリンピックでは、日本代表選手が各競技でめざましい活躍を見せ、過去最高の41個のメダルを獲得したところであり、世界トップレベルのアスリートたちが、オリンピックという晴れの舞台で最高のパフォーマンスを披露する姿は、たくさんの人々に勇気と感動をもたらし、スポーツの持つ力の大きさを改めて認識いたしました。

いよいよ今年も、「愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会」が開かれます。県では、競技力の向上や、来県者の方々に「愛顔のおもてなし」でお迎えするための受け入れ態勢の構築などに、官民一体となった「オール愛媛」体制で取り組むことで、両大会を成功に導き、平成34年に本県で行われる高齢者のスポーツ、文化、芸術、福祉の祭典「ねりんピック」につなげて参りたいと考えております。

このようなか、老人クラブの皆様におかれましては、「健康・友愛・奉仕」を柱に、長年にわたり、独り暮らしの

もそこに参画し、実行可能な項目を選定し行動することを目指しております。

5か年計画の会員増強運動についても各クラブにおいて知恵と努力により精力的に取り組んで下さったことに対し厚くお礼申し上げますと同時に引き続きご協力くださいますようお願い申し上げます。

さらに、今後の課題としては若手委員会、女性委員会の育成と強化発展であり、その環境整備も充実する必要があります。地域の指導推進員として地域の活性化、後継者育成に努められ、若手・女性ならではの新しい発想や思考を導入し、大いに活躍されまじよう期待いたします。

諸先輩方におかれましては、持てる知識と経験を生かし、後押し下さいませようお願いします。

終わりに、各老人クラブのさらなる発展と会員皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます。

高齢者に対する訪問や地域見守りボランティア等の地域社会の基礎を成す取り組みをはじめ、健康づくり大学校の開催や各種スポーツ大会への参加による健康の維持・増進活動を積極的に展開されており、誠に心強く存じます。

どうか皆様方には、引き続き、これまでつちかわれた豊かな知識と経験を生かされ、老人クラブ活動の輪を大きく広げられますとともに、いつまでもお元気で、地域を支える担い手として御活躍いただき、本県の高齢者福祉の向上と「愛顔あふれる愛媛県」の実現にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、公益財団法人愛媛県老人クラブ連合会並びに各単位老人クラブのますますの御発展と、会員の皆様方の今年一年の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げます。

県老連女性委員会開催

県老連女性委員が任期満了となり、平成28年3月4日に開催された県老連理事会において各市町老連から推薦のあった12人の方が新たに女性委員として承認されました。任期は平成30年3月31日までの2年間です。

年度が変わった4月6日には早速女性委員会が開催され、今回新しく選任された女性委員が顔をそろえました。自己紹介を行った後、県老連事務局より今年度の県老連の事業計画や新規事業、老人クラブ傷害保険の説明などが

ありました。その後、地域における女性部の置かれた状況や活動などについて活発な協議と情報交換が行われました。

会の最後に新役員の互選が行われ、新しい女性委員長には岡田幾世氏(東温市)、副委員長には岡田美津子氏(四国中央市)・松井佳代子氏(大洲市)が選ばれました。

なお、選出された女性委員長は県老連の理事兼副会長を、また副委員長は評議員をそれぞれ務めます。

第4回若手委員会開催

平成28年12月22日(金)午前10時00分より、ひめぎんホール第12会議室において、愛媛県老連若手委員会の第4回会合が開かれました。

最初に愛媛県老連会長である篠崎英夫会長の挨拶があり、続いて出席した委員が各自自己紹介を行いました。その後議題に移り、現在の各市町にお

る若手委員活動の現状や行きつまりを感じていること他について率直な情報交換を行いました。そこでは、出席していた18市町のうち、若手委員会が組織化されているのはわずか3か所にとどまるなど課題も浮き彫りになり、まずは若手委員の重要性について地元の理解を得ることが求められます。

県老連予算検討特別会議を開催

愛媛県老連の累積赤字解消の対策を協議するため平成28年9月21日(水)ひめぎんホール別館第14会議室において、各市町老連会長18名(大洲市・久万高原町欠席)・県老連会長1名・監事2名・事務局職員4名の計25名で予算検討特別会議を開催いたしました。

県老連事業における削減可能経費の提示や今後予想される経常収支の試算、経常赤字縮小対策案及び収入増の為の対策について協議され、県老連、市町老連ともに最大限の努力をすることを決議いたしました。

第56回愛媛県老人クラブ大会開催

去る9月7日、ひめぎんホールサブホールにおいて、県下市町老連から会員760名が集い、第56回愛媛県老人クラブ大会が開催されました。大会では、参加者全員による国歌斉唱のあと、物故された老人クラブ関係者に対し黙祷を捧げました。そして、篠崎英夫県老連会長の挨拶に続いて、



老人クラブに貢献された個人、団体等に対する表彰が行われました。なお、各表彰の内訳は以下の通りです。(知事表彰として高齢者福祉関係功労者13名、会長表彰として優良老人クラブ11クラブ、老人クラブ活動功労者35名、寝たきり老人優良介護者9名、会員増強クラブ108クラブ、新設・復活クラブ4クラブ)。

式典の後は、愛媛大学法文学部教授で、四国遍路・世界の巡礼研究センター長を務める寺内浩先生が「四国遍路の歴史と文化」と題し講演を行いました。講演の後、県交通安全母の会連合会から靴に貼る反射材の贈呈があり、それに続く警察講話では、愛媛県警察本部交通企画課の芝和憲警部が、夜間歩行中の死亡事故において反射材の着用者はゼロだったことに触れ、夜間の外

第56回愛媛県老人クラブ大会 大会宣言

「高齢者の世紀」と呼ばれる21世紀も既に17年が経過し、高齢化の波は年を追うごとに、要介護者の増加、高齢者の孤立、孤独死など、様々な文化的、経済的、社会的課題を深刻化させている。

一方で「高齢者の世紀」とは高齢者が社会の主役になる時代である。高齢者が長年にわたる知識や経験を活かして各分野で中心的な役割を果たし、地域社会のリーダーとして活躍する時代に他ならない。

現在、全国の自治体において、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域団体や住民参加による支え合い体制作りが進められてい

出には反射材は必ず着用する事、また、道路横断の際には確実に安全確認する事などを強く呼び掛けました。最後に大会宣言を採択して、大会は盛況裡に幕を閉じました。

なお、来年度は9月6日に開催されます。

愛媛県知事表彰受賞者氏名(敬称略)

松山市	今村 旭
松山市	黒川 朝市
松山市	山根 千尋
今治市	岡村 勉
西条市	青野伊佐美
西条市	近藤 喜良
西条市	高橋 圭次
大洲市	松井義太郎
伊予市	久保 隆雄
伊予市	仙波 政雄
四国中央市	近藤 幸男
愛南町	大元 邦男
愛南町	西平 信行

記

「100万人会員増強運動」に呼応して、会員加入促進運動を進める

「住民共助による」地域支援活動を推進する

「健康づくり・介護予防活動に積極的」に取り組む、すべての高齢者の健康維持・増進に努める

「若い世代にも魅力あるクラブづくりを推進し、次世代リーダーを積極的に啓用する

「高齢者の交通事故撲滅運動や詐欺等の犯罪防止活動を推進し、安心・安全のまちづくりに努める

平成二十八年九月七日

第五十六回愛媛県老人クラブ大会

第45回全国老人クラブ大会開催

第45回全国老人クラブ大会が、11月9日・10日の両日、立山連峰を望む紅葉真っ盛りの富山県富山市で、「のばそう」健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマに、全国各地から1300名が参集して盛大に開催されました。本県からの参加者は14名です。

初日はテーマ別に3つの活動交流部会に分かれ、それぞれの会場で、活動事例発表が行われました。

第1部会「地域に健康づくり・介護予防活動の輪を広げよう」新地域支援事業の展開に向けて、第2部会「未設置地区にクラブをつくらう」地域と連携した会員増強運動の展開「第3部「演じる活動」のテ

マに分かれての活動交流部会です。

2日目は、在任10年目の富山市長森雅志氏より「健康寿命の延伸を目指して」と題して講演がありました。富山市は、昨年度の高齢化率が28・24%で前年比0.6%増でしたが、これに対し要介護認定率は18・48%と、僅かながら減少し、老人クラブ加入率が全国一という成果を上げています。

「高齢者をいかにして歩かせるか」を考え、外出機会の創出を図るために、どんなに遠くから乗車しても市内で降りると、バス料金が一律100円という「お出かけ定期券」制度を設けました。65歳以上の24パーセントが加入し、一日平均2700人が利用しているとのことです。

第58回四国老人クラブ大会 今年度は高知県で開催、37名が参加

四国老人クラブ大会は四国四県の持ち回りで開催されておりますが、今年度は高知県老連が主催となり、8月3日に高知市の三翠園にて開催いたしました。参加者は348名、本県からは37名が参加し、盛大な大会となりました。

大会は、華やかなオープニングコースから始まり、大会長である高知県老連の鈴木彬夫会長の開会あいさつ、表彰、尾崎正直高知県知事他の来賓祝辞などの式典があり、続いて高知県立坂本龍馬記念館主任学芸員の三浦夏樹氏による記念講演「幕末史において龍馬が果たした役割」が行われました。

そして、休憩をはさんで各県の活動事例発表があり、その後大会宣言を採択して閉会しました。活動事例発表では、本県からは、新居浜市老人クラブ連合会事務局長の三木博喜さんが、魅力ある生きいきシニアクラブ活動についての発表を行いました。

来年度は8月3日に徳島県で開催されます。

四国老人クラブ大会長表彰本県受賞者

三好 勇 (愛媛県老連(前)理事)

谷口 圭祐 (愛媛県老連(前)評議員)

酒井スナヲ (愛媛県老連(前)評議員)

又、アトラクションでは、富山県立

南砺平高等学校郷土芸能部の越中五箇山民謡「麦屋節」・笠踊り、「こきりこ」の「して踊り」が披露され、唄、踊り、鳴り物全てが見事で、高校生とは思えない熟練の芸に、会場の皆さんの目を釘付けにしました。式典では富山県老連会長の歓迎の挨拶に始まり、続いて全老連会長挨拶、表彰、来賓祝辞、大会宣言採択等が行われました。

来年度は、10月18・19日に京都市で開催されます。

愛媛県関係受賞者

◎高成功労表彰

能仁 賢全氏

(大洲市老人クラブ連合会会長)

◆優良老人クラブ表彰

新町老人クラブ(今治市大西町)

◆優良都市区町村老連表彰

石井地区高齢者クラブ連合会(松山市)

平成28年度中国・四国ブロック 老人クラブリーダー研修会

公益財団法人香川県老人クラブ連合会主催による平成28年度中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会が、7月13日・14日の2日間にわたって香川県琴平町において開催され、本県からは26名が参加しました。

初日は開会式に続いて全国老人クラブ連合会事務局の岡本まゆみ参事から「老人クラブ組織の発展に向けて」全国運動、行動提案等」と題して基調報告があり、その後休憩を挟んで、会場全体で部会の事例発表・討議を行う形式とし、まず第1・第2部会の研究討議を行いました。

第1部は「会員増強の推進」について、第2部は「友愛・奉仕活動の推進」をテーマに討議が行われ、第2部では、本県から松前町老連前会長の谷口圭祐さんが、「高齢者とのふれあいを大切に」と題して活動事例発表を行い、その後情報交換や活発な討議が行われました。

2日目は、第3部「健康づくり・介護予防活動の推進」についての事例発表・討議から始まり、その後、総本山善通寺第五十七世法主権原神澄氏による講演、香川県老連豊島賞会長による総括が行われました。そして、次期開催地である広島県老連鈴木孝雄理事長の挨拶および香川県老連の藤田登彦子副会長の開会挨拶があり、盛会の内に終了いたしました。

来年度は6月29・30日に広島県呉市で開催されます。



平成28年度愛媛県老人クラブスポーツ大会



数は選手884名、競技運営委員や応援を含むと1062名の参加となりました。

五競技の結果は次の通りです。

マクローケーの部

優勝 波止浜A(今治市)

準優勝 吉野シルバー長生会(松野町)

三位 城西クラブ(宇和島市)

マウンドゴルフの部

優勝 松尾団地福寿会A(松山市)

準優勝 小松地区老人クラブ(西条市)

三位 保免西老友会A(松山市)

マケットボールの部

優勝 中島粟井老人クラブ(松山市)

準優勝 荏原(松山市)

三位 よしうみ泊(今治市)

マペタンの部

優勝 土居赤星(西国中央市)

準優勝 富前老友会(松山市)

三位 小中浦(渡邊)(伊方町)

マワナゲの部

優勝 田窪(東温市)

準優勝 国永(宇和島市)

三位 西岡老人クラブ(東温市)

「高齢者の体力測定啓発」

普及モデル事業」最終年度

加齢に伴い、落ちてくる体力ですが、自立した生活を送るためには、できるだけ体力を維持、向上したいものです。1回限りの体力測定ではなく、2年間継続して、①握力、②上体起こし、③開眼片足立ち、④10分障害歩行、⑤長座体前屈、⑥6分間歩行の6種目の測

定を行ってきました。2年目の今年度、体力の低下を食い止めることができました。

この事業最終年度となりましたが、今治市、伊予市、八幡浜市で開催している途中です。

第28回 全国老人クラブ女性リーダーセミナー

公益財団法人全国老人クラブ連合会が主催する全国老人クラブ女性リーダーセミナーが10月5日、6日の両日、二子そら女性パワールームをテーマに東京都霞ヶ関にて開催されました。

風18号の影響で開催が危ぶまれましたが、参加を見合わせたのは4県にとどまり、全国から女性リーダー112名が出席しました。

28回目を数える今回のセミナーには、愛媛県からは今治市の鴨田安喜子

「高齢者の体力づくり支援事業」始めました

今まで行ってきた「体力測定啓発・普及モデル事業」ですが、体力測定を年に2回行うだけでは、体力の低下は免れません。それには日々の継続した運動が不可欠です。

スポーツを日常的にしている人も、自宅できるトレーニングを健康運動指導士の先生に指導してもらうようステップアップしました。初年度は自然が美しい大洲市河辺地区、砥部町、新居浜市で開催中です。



さんが参加しました。会場までの道中も含めすべてが初めての経験であり、全国の女性リーダーとの交流や情報交換を通じて、新鮮な驚きと良い刺激を得ることができたようです。この経験をぜひとも今後の地域活動に活かしていただければと思います。

このたび平成28年度老人クラブ女性リーダーセミナー全国大会に参加の機会をいただきました。10月5日、6日の2日間東京都千代田区新霞が関ビルで開催された同セミナーに、全国で活躍している女性リーダーの一員として参加させて頂きました。

全国老人クラブ女性リーダーセミナーに参加して

今治市老人クラブ連合会女性部長 鴨田安喜子

いモノレールに乗り、新霞が関ビルへと緊張しつつも頭の中でコミュニケーションしたとやり取りを繰り返しました。夫が単身赴任で東京勤務以来の一人での上京にワクワク。80歳の冒険で目と口があれば行ける」と向こう見ずな私、大丈夫、さっそく山口、島根の方に声を掛け、たまたまその方が出雲の友人のご近所という奇遇もあり、分散会では香川、和歌山の知人も出ました。来年はぜひまた何方か参加して頂きたく、今からお勧めいたします。中には決まった方が何年も来られているらしい処もありましたが、是非とも東中南予で万遍に経験されたいなというのが感想でした。

お伝えしたいことがいっぱいありますが、来年は一杯手を挙げて参加されることを祈ります。いろいろ見聞しセミナー以上の体験をまたしやべりまくりましょう。熱の冷めないうちにはパソコンに向かっています。県老人クラブ関係者の皆様、ありがとうございました。

地域に広げよう 友愛の輪

平成28年度高齢者相互支援事業について

県老連は、引きこもりがちな高齢者を地域で支えるため、モデル地区を指定して友愛活動を行う「高齢者相互支援推進事業」を毎年実施しております。本年度はモデル老連として松山市、西予市、鬼北町が指定され、それぞれの地域に即した独自の活動を展開しています。

県老連ではまず、今後事業を進めるにあたり中心的役割を担うシルバーリーダーをモデル老連に選任し、昨年8月、各モデル市町において相互支援推進連絡会議とリーダー養成セ

泊はみんなばらばらで、私のホテルは1組居られました。ちよつと寂しかった。とはいえ私は単身赴任中の息子と会い、久しぶりに親子水入らずの夕食をとるというおまけ付きです。わが家の事ながら、彼は家族を京都に置いての東京暮らしで、80歳の母が上京して驚いていました。今は今回の経験をもち振り返り感謝の冷

池脇政子先生をお迎えし、地域助け合い活動についての講演も行われる予定です。

セミナーでは、シルバーリーダーのみならず一般の会員も参加して、県生涯学習講師による講演や活動の進め方を丁寧解説したビデオの上映が行われ、参加者は皆、熱心に耳を傾けていました。また3月2日には、各モデル老連のシルバーリーダーが一堂に会し活動報告を行う「高齢者相互支援活動啓発セミナー」が、松山市のひめぎんホールにて開催されます。このセミナーでは、活動事例発表の他、兵庫県淡路島から



平成28年度 県老連女性リーダー研修会

開催される

平成28年度の県老連女性リーダー研修会が12月8日、ひめぎんホール別館第11会議室において開催され、県下各地から女性リーダー83名が参加しました。

研修会にはまず奥田幾世県老連女性委員長(東温市)、篠崎英夫県老連会長の挨拶で幕を開け、続いて今治市老人クラブ連合会の嶋田安喜子さんが全国女性リーダーセミナー参加報告を行いました。この中で嶋田さんは、全国から集まった女性リーダー達との交流の様子や、老人クラブが取り組む地域支え合い活動の大切さについて熱心に話しました。

続いて日本赤十字社愛媛県支部事業推進課長の相原敬治氏による、「熊本地震救護活動と災害に備えて」と題する講演が行われました。ここで相原氏が実際に携わった熊本地震救護活動や被災地での体験をもとに、被害を最小限にするために私たちはどう行動すべきかについて話されました。そして、災害時に生死を分けるのは自助・共助であり、まずは枕元には必ず靴を置いておくこと、非常持ち出し袋は寝室に置くこと、お薬手帳を肌身離さず持参する事などを強く訴えるとともに、日頃から避難所の確認や避難経路を複数用意しておくこと、地域コミュニティの絆を強めておくことが重要であると語りました。

休憩を挟んで、いきいき体操、老人クラブ保険説明があり、後半は松山東消防署の署員による救命救急講座が行われました。ここでは、消防署員に

平成28年度愛媛県老連健康づくり大学校

今年は今治市で開講。過去最大の参加数

平成14年度から毎年開催している健康づくり大学校は今年愛媛県第2の都市、今治市で開催しました。今治市での開催は2回目でしたが、市老連の皆様の呼びかけにより、入学式には過去最大数の101名でスタートしました。30%を超える超高齢化社会になりましたが、高齢者が一人一人元気で支え合う社会をめざして、そのために何が必要なのかを学びました。

また、減少している老人クラブの会員ですが、初めて出会うクラブ員同士親交をはかり、今治市老人クラブのリーダーが育つことを目指しました。

今年7月19日から11月1日の卒業式までの11日間でした。会場の都合もあり、8月16日のお盆にも大学校が開催されましたが、43名もが皆勤賞を受賞しました。今年初めての救命救急普通講習を全員で受講し、3時間にもわたる講義と実技指導を受けて、受講証を



よる指導の下、気道異物除去法や心肺蘇生法、AEDの使用方法について学びました。

今回の研修会は熊本地震を教訓に、明日は我が身として備えを怠らず、クラブの活動を通して地域の絆を強めてほしいとの思いを込めて開催しました。皆さんの地元での生活や今後の活動に少しでも役立てていただければと思います。



2年目の会員増強運動報告

老人クラブ会員の減少に歯止めをかけようと、県老連では、平成26年度から5年計画で1万人の会員増強運動に取り組んでいます。2年目(平成27年度)の結果は、次のとおりとなっております。

27年度目標会員数99,155名
実績数95,589名
目標を5,567名下回る

27年度のみ会員減少数は2,606名

(平成28年4月1日現在で集計)

活動が活発な単位クラブにおいては新規会員数が増加し、一定の成果を上げているところもありますが、全体的に会員減少傾向が続いています。

「熊本地震災害」救援拠金について報告

平成28年4月14日、16日に発生した熊本地震災害にかかる義援金につきまして、全老連の呼びかけによって全国的な取組みが行われ、当連合会でも拠金の募集をお願いいたしました。

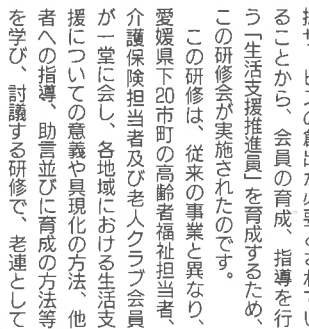
結果、県内12市町老連より一、六七六、一六円の浄財が寄せられ、全老連救援拠金は総計で三〇七、九一七、三四六円となり、熊本地震より被災市町村老連に配分した旨のお礼状を頂きました。

初めての開催 「生活支援等担い手育成事業研修会」

平成28年10月12日時からひめぎんホール第11会議室において「生活支援等担い手育成事業研修会」第1日目が開催されました。

介護保険制度改正により、高齢者を含む地域の多様な人材による、生活支援サービスの実現が必要とされていることから、会員の育成、指導を行う「生活支援推進員」を育成するためのこの研修会が実施されたのです。

この研修会は、従来の事業と異なり、愛媛県下20市町の高齢者福祉担当者、介護保険担当者及び老人クラブ会員が一堂に会し、各地域における生活支援についての意義や具現化の方法、他者への指導、助言並びに育成の方法等を学び、討議する研修で、老連として



事務局のつぎやぎ

明けましておめでとございませう。平成28年度版「愛媛県老連だより」歳遊記をお届けいたします。本年度も引き続きましてどうぞよろしくお願いたします。

私自身、28年を漢字で表すと「多」でしょうか。なんだかんだと、とても多忙だったので。皆様はいかがですか？

私が担当した健康づくり大学校もそのひとつ。今治市での開催でした。今治市では平成15年からの2回目でした。なんと受講生が過去最多の101名が受講して下さるようになりました。残念ながら全員で卒業することはできませんでしたが、とにかく、元気で活気のある今治市老人クラブの皆さんでした。私のマイ

救援拠金をお寄せいただいた会員の皆様、友愛の心に深く感謝申し上げます。ととも、ここに報告させていただきます。

ご協力ありがとうございました。

この研修で、国がほやとさせているところを市町の獨創性、地域力の創出で乗り切ることが出来そうです。(市町介護保険担当者)

そもそも町における協議体構想の中から老人クラブ会員が抜けている。地域における会員数の多さから考えると、メンバーに加わって頂くことは、非常に心強い。(市町介護保険担当者)



クの声も負けずでした。今回の大学校のカリキュラムで初めての救命救急普通講習を取り入れてみました。3時間みっちりの実技講習です。100名近い受講者が一生懸命真剣に取り組みました。その中で、忘れられないエピソードをひとつ。

意識のない人を見つけた時の対応で、AEDを使う講習の場面：「あなたAEDを持ってきてください」との声が聞こえました。違和感のない聞き覚えのある横文字の「A」。

「A」間違えた。緊張しながらの講習でしたが、周りの皆の緊張がとどほれる明るい間違えでも一生懸命な救命処置の現場ではきっと「AED」と言ってもきっと「AED」が聞くと思えました。

二期一会。もう一回お会いすることのない方もいらっしゃると思いますがどうぞお元気でいてください。と卒業式の日に心の中でつぎやきました。(北尾)